

松田育三先生に感謝をこめて

皆川 容子



7月4日、合宿で滞在していた岡山県久米郡の山深い山荘で、丁度、昼食をとろうとした時です。携帯電話が鳴りました。そこから流れて来た言葉に、一瞬耳を疑い、次に、血の気がスーッと引いていくのを感じました。

松田育三先生が、3日夜に亡くなられた、という知らせだったので

す。
NPO法人ネイティブヘルスの理事であり、医療相談上、エヌエイチアカデミーにとっては、なくてはならない存在の先生でした。

先生の言葉によって、元気になられた方がどんなに多くいらっしゃるのか。

松田先生のお陰で、長年やめられなかった薬をやめることができた、という方も沢山いらっしゃいます。

当法人も存続の危機に陥った時、先生がいらっしゃらなかつたら、這い上がれなかつたことと思います。

今、あるのは、本当に松田先生のお陰です。ご病気になられてからも尚、どっぷりと頼りにしておりました。

その先生が、亡くなられたのです。

一昨年夏にガンが見つかり「ガンの三大治療（手術・抗癌剤・放射線）はしません。きっと元気になってみせます」と力強く断言なさり、事実「本当に良くなった、もう大丈夫や」と仰ることが何度かありました。

5月24日にお見舞いに伺った時には、お顔

色も良く声にハリがあり「いい体験させてもらった。これから今まで以上に話すことがようけ出来たワ」と言っておられました。やっぱり松田先生はスゴイ！と思ったのです。

中国に新しい療法があると言って、何回か訪中して居られました。医者としての責務からか、自ら確かめたかったのでしょうか。

とても残念です。とても淋しく、悲しく、つらいです。

ご訃報が入り、予定を切り上げて、すぐ奈良のお宅まで飛んで行きました。

枕元に近づきましたら、今にも「あーよう寝たワ」と言って起きてこれそうなご様子で、穏やかに眠って居られました。そのお姿を拝見して、涙がぐっとこみあげてきましたが、一方では、何故か安堵する気持ちが湧いてきました。

先生は、医者でありながら、しかも、健康について、ガンについて、長年語ってきたにもかかわらず、ご自身がガンになったこと、思う通りにいかないこと、に対して、いらだち、とても苦しんで居られました。その苦しみからやっと解放された、という風にお見受けしたのです。そう思うと、何故かほっとしたのです。

心から「ごゆっくりお休みください」と申し上げました。

又、先生は「あちらの世界がどんなものか早く見てみたい。死は一寸楽しみでもある」ともよく言って居られました。きっと今頃は、存分にあちらの世界で見分を広めて居られることでしょう。

今、この原稿を書いている部屋には、モー

ツアルトの弦楽五重奏が流れています。一見軽快そうに、それでいて、ほとぼしる情熱を秘めて、弦の旋律が静かに響いています。松田先生が、最後まで毎日聴いて居られた曲だそうです。

「ガンのお陰で、長年忘れていたヴァイオリンを再び手にする気持ちになった」と、時々愛器を持ってこられて、昨年末頃には、「ようやく昔の音色に近づいてきた」と嬉しそうに言って居られました。

チカコ健康サロンで『癒しとしての音楽』と題して、先生のヴァイオリン演奏と共に、お話いただく企画をし、先生もそのおつもりで練習をしていらっしやいました。とても残念です。

医療的なことは勿論、人生について、氣、波動について、素粒子等々、いろいろなことを教えていただきました。音楽や山の話、霊能者の話など、思い出は数限りなく心に深くきざまれています。

松田先生から戴いたご恩と、お教えは、生涯忘れることのできない大きな大きなものです。

本当に、ほんとうに有がとうございました。



医学博士松田育三先生語録 (享年 72 才)

「私は、現代医学の華々しい進歩を、全面的に否定する気はさらさらありません。しかし、40年間人間の健康を見続けてきて、その生命力の偉大さがわかってくると、人間の浅知恵が作る医学など、たかが知れているのではないかと思えてくるのです。(中略) 勝利者の原理に基づいて病気に打ち勝つのではなく、大自然が私たちに与えてくれた偉大な力を上手に使うのが、本当の医学であり、人間の叡智と言うべきでしょう。自分のからだの中にあるものを有効利用するのが生命力です。」
(「菜食整腸の奇跡」序文から)

「自分がガンになって、今までの勉強で、何が足りなかったか痛切に気がついた。」

「あなたは不健康ですね。何か間違っていないか。と病気が教えてくれているんです。私は未熟児、虚弱児として生まれました。それを教科書として勉強し、健康になって20年位得意になった。俺の医学、間違いやなかった。」と、すると“ばかやろう、生意気な！もういっぺん頭冷やして勉強しなおせ”と天が言ってガンをくれたんです。」

「ガンになる人の原因の一つは、もの凄いストレス、一つはオーバーワーク、がんばり屋です。人間には本能、感情の世界と理知の世界がある。理知を優先した人は全部ストレスの塊です。感情がマイナスだと、ホルモンバランス、自律神経、免疫力がガタガタなんです。だから病気になるんです。」

「あるがままがよろしい。腹が立ったら怒ったらよい。我慢するからいかん。なにが正しいか、何が善か、この考えは捨てましょう。正義と正義がぶつかって喧嘩がおきる。皆、各々正しいと思っているから喧嘩になる。宗教戦争がそれですね。日本人は八百万の神ですよ、清濁併せ持つ、和の文化です。そこから、総合力が生まれてくる。」

「私は子供の頃からヴァイオリンを習っていて、コンサートマスターもやらせてもらっていました。それが40年間楽器をさわっていない。あの好きな音楽を忘れてたんですね。今、又それを始めた。自分の時間を作っています。生きるっていうのはこういうことなんですね」

「人間は草食動物で、炭水化物から自前の蛋白を作ります。その時必要なのが酵素です。焼いたり、煮たりすると酵素は死んでしまう。酵素がないから分解されずゴミとして体内に溜まり、病気になる。」

(以上 '08.2.2 チカコ健康サロン講演から)

松田育三先生を悼んで

福岡 井上哲夫

「井上さん！ そろそろ腹すいてきたし、蕎麦でも食いに行きまひょか？」
と言って松田先生に案内された蕎麦屋には、4、5名の方が待っておられ、どういう集まりだか分からないまま、私は奥の席へ押し込められた。目の前に並んでいる料理は、蕎麦ではなく、立派な酒肴である。まあ、どういう集まりだか分からなくても、うまそうな酒肴が並べられ、ご本人は腹が減っているとすれば、勝手に手や口は動き始める。松田先生に乗せられた！と気づく頃には、もうこちらの胃袋は活発に働いており、途中で止めるわけにはいかない状況となっている。心身ともに絶好調となり、気も高まった頃、一人の御婦人が現れた。気品と愁いの漂う御婦人を支えるように、松田先生が紹介された。

「井上さん、こちら皆川さんいうてな、難しい病気を持ってはるんやけど、薬に頼らんと、自分で食養生で治そうという、立派な心がけの人なんや」
見れば、杖をついて、一人で歩くのは心許無いほど弱々しい足どりであった。
その後、大阪出張の時には必ず、松田先生に連絡を差し上げ、エヌエイチアカデミーで皆川さんと幾度となく顔を合わせることになるのだが、会う度に元気になっていかれる皆川さんの回復力と意志の強さには、本当に驚かされた。皆川さんにとって松田先生は、命の恩人とでもいえる特別な存在ではなかったかと思うが、実は私にとっても同様なのである。

私は食品製造会社を営んでおり、主力商品の推薦文を松田先生に書いていただいてもいる。福岡が震度6の地震で被害を受けた時、私は全国的に名の知れたT病院に入院していた。生まれて始めての入院生活は、まあそれなりに面白かったのだが、入院して4、5日たった頃、なぜか用もないのに松田先生に電話をかけた。

「今入院してましてね、T病院からかけてます」
松田先生の声が変わった。

「何で入院してんのや？ 症状を言うてみい」
入院に至った経過と症状を説明し終わるや、
「すぐ病院を出なさい。今すぐです。」

「え？ でも明日カテーテルを入れて心臓の検査をする予定になってるんですが？」

「そんなもん必要あらへん。すぐ退院手続きをしなさい。」

「でも医者があなたの心臓はいつ止まるか分からないと言ってますが？」

「心配だったらカルテをすぐこちらにFAXしなさい。いいですか、心臓はそんなに簡単に止まらないようになっています。そもそも、患者を脅すような医者は、医師としての資格はありません。」
私は、この時ほど厳しい松田先生の声の聴いたことが無い。おそらく、似たような経験をされた方は全国に相当数おられるのではないかと思う。

松田先生は自分の身をもって、現代西洋医学の限界と医師の正しいあり方を世に問い続け、患者の立場に立った医療を実践された、文字通り、医師の鑑としての一生であったと思う。

又、日々の診療の傍ら、宇宙の法則や人間存在の真理についての洞察にも造詣が深く、大人気だった松田先生の講演会の中では、実話やたとえ話をを用いて、笑いの中で真理を諭しておられた。
また、大分の龍音寺の和尚さんと岸和田の浄念寺の和尚さんと松田先生の鼎談は、世にも珍しい、あの世とこの世とを逝ったり来たりする会話に花が咲き、あっという間に2時間の予定が4時間になり、いつまでもあの世の話はつきませんでした。

「いいか井上さん、いいこと教えたろか？ あのな、人間ってな、死んでも生命があるんやで！」

「えっ！ 死んでも生命があるんですか？ それは有難いですねー」

「そやねん。身体がなくなるだけやからな、返って自由に動き回れるかも知れへんなあ」

「先生、あの世にも居酒屋ありますかねえ？ 死んでもお酒のめるんでしょうか？」

「そやなあ、飲めるかも知れんが味の方はどうかなあ？」

本当に楽しい思い出を、松田先生にはたくさん作って頂いた。

そして、命のはかなさと尊さを会う度に教えられ、夜の酒席では、いつもあの世の話題が当たり前のように出てきていたので、御逝去されたという実感がうすくなってしまふ。

いつも一緒に寄り添い、導いて頂いているような気がしている

感性と健康

哲学博士 芳村 思風

(' 09. 8. 9 チカコ健康サロン講演要旨)

感性は命の本質

私は感性という感じる力を、20代からずっと研究して、かれこれ40年くらいになります。

感性というのは感じる力ですけど、人生は感じてこそ人生、燃えてこそ人生です。

興味、関心、好奇心、欲求、欲望とかが大事なのです。命からわいてくるものがないと命は燃えられない。理性では燃えられない。感性は命の本質だと私は考えている。

60兆の細胞から人間の体はできていると言われているが、その細胞を一個の命に結合、統合するのが、感性の力。だから感性の力が働かなくなると、60兆の細胞は繋がりがもてなくなり、バラバラになってしまう、それが死んだということ。

単細胞生物も感性を持って、自分が生きる為に必要なエネルギー、物質を探し求めて、捕獲して食べる。他の生物も同じで、それが生きる具体的な活動なんです。

生物学的には、ホメオスタシスという力が命の中に働いていて、水が不足すると、水が飲みたい、喉が渇くという要求がでてくる。命から湧いてくる欲求が求めるものを採ったら、命の栄養バランスが採れている、ということができる。

病気とは、どうしたら健康に生きることができるか教えてくれる現象。

病気という事を体験しないと、こうなんだと断定的な健康の為に必要な生き方がわからない。

病気になっても自然治癒力という、常に命を健全に保っている働き、元に戻す、健康に戻す働き(ホメオスタシス)がある。

感性の三作用(調和作用、合理作用、統一作用)の働きが、バランス機能を崩した時、病気になってしまう。

そういう意味で、健康というのは、感性の働きによって維持されている、ということができるんですね。

我々は不快なことを避けて、快いものを求めるという感性の働きを持っている。

しかし、不快を避けて、快いものを求めていく働きは、ある意味、消極的な逃げの生き方なんです。



それを避けるのではなく、不快と感じるものすら、この自分にとって、快いものにしていくという積極的な努力をする必要がある。自分の身の周りに起こるあらゆる事柄を、快いもの、いいもの、よかったという風に変えていく努力が、人間力というか、人間として大切なことになってくる訳です。

理性と本能や欲求

我々自分の中には理性としての私と、本能としての私がある。

本能や欲求より、理性で生きるということが、正しいと考えている人が多いですけど、それが病気の原因なんですよ。

理性によって感情をコントロールしようとする、ストレスをつくってしまっ、その結果として様々な診療内科的な、精神的な病気が起こるのだ、ということをフロイドは発見しました。

理性と本能が対立し合ったり、理性が欲求を支配したりする事になると、命が分裂する。

理性としての私と、感性としての私、自我としての私と、自己としての私を協力させて働かせないと、健康にならない。この生き方を是非、覚えてもらいたい。

悩むって事は命が病んでいる状態です。意識が病むと、必然的に肉体も病むんです。有機的關係性があるから。

人間の幸せってのは、したい事をする事なんです。人生を本当に楽しく愉快に、生きがいを感じて生きていこうと思ったら、欲求が大事なのです。

したい事が無い人間には、幸福もない

子供ってのはみんな、見たがり屋、聞きたがり屋触りたがり屋、動きたがり屋、知りたがり屋で本当に欲求の塊なんです。それを、どんどん伸ばしてあげたら子供はみんな大天才ですよ。学校に行く事によって、みんな平凡な人間にさせられてしまう。それは現代教育のものすごい大きなマイナスであり、問題点ですね。

我々を動かすのは理性ではなく欲求なんです。欲求の無い人間は、自分の人生がないんです。

理性と本能を協力させる

しかし、したい事をそのまましたら野獣なんです。人間じゃない。人間になるためには、理性を使わないといけないんです。

自分がしたい事を、どうすれば、みんなに迷惑をかけず、自分の力でみんなに喜んで貰える方法で、実現できるかを考えるために理性を使うと、理性と欲求が協力して働くから、人間的なすばらしい人生になるんですよ。

職業っていうのは、自分がしたい事をやりながらも、みんなが求めるものを作って、喜んで貰う。そのためにどうしたら良いかを考えるのが理性。正に欲求と理性が協力して働いて作られてきた人間的な行為というか、活動なんですね。

どうしたら理性と本能、理性と欲求を協力させる事が出来るかを、理性を使って考えて行くと健康になる。対立構造を作ったら病気になる。

自分を騙さないで、自分を偽らないで自分に正直に生きて、しかも、みんなと仲良くやっつけていける。その方法を考えるために理性を使う。そうしたら物凄く健康になりますよ。楽しいですよ。

けどほとんどの人は、本当の健全な理性の使い方が出来なくて、みんな理性で自分のしたい事を抑えてしまって、自分を騙しながら、自分を偽りながら、自分にとって嘘の人生を生きてしまっている。だから病気になるんですよ。

同じように、外の世界と自分を対立させたらまた病気になる。

健康に生きようと思ったら、人を恨まずに妬まずにね。嫌な奴だと思わないでね。出来る事ならみんなを好きになる。そうすると自

分も幸せですからね。

人間は長所半分短所半分

どうしたらどんな人でも好きになれるか。そのための基本原理が2つあるんです。

人間性というのは長所半分、短所半分という構造でなりたっているんです。

短所は半分もあって無くならないんですよ。短所が無くなったら神様、仏様です。

人間は、宇宙の中に存在する一個の命で、我々も大宇宙の一部なんです。我々の命の中には宇宙の摂理が支配している。

宇宙の中に存在するものはみんなバランス作用、並行作用、調和作用というものを基本的な働きとして持っているんです。

神経系も交感神経、副交感神経でバランスを取っています。摂食も、空腹と満腹でバランスを取っています。

一対という存在であらゆるものが支え合ってる構造になってるんですよ。だからプラスにはマイナスがあるでしょ？陰には陽があってね。光には影、表には裏、善には悪があり、上には下、右には左、前には後ろね。男には女、動物に植物ね。みんな一対になってるんです。片一方が無くなってしまったらもう片方も無くなるんです。

どんな立派な人間でも、必ず付き合ったら、自分に取って嫌だなという部分が半分は出てくるんです。

短所が無かったら人間じゃないんだ。その人間観をちゃんと押さえないと、本当に人生を楽しく健康に生きられませんよ。

愛することは長所も短所も丸抱え

人間を愛するって事は長所も、短所も丸抱えなんです。短所を許す心こそ、本当に人間らしい、真の愛情なんですよ。

皆、心が欲しいのです。理屈じゃないんです。みんな、愛されたいのです。認めてもらいたい、わかってもらいたいんです。皆、ほめてもらいたいのです。

愛と言っても、愛してるつもりのおや、自己中心的な身勝手な愛が多い。

愛というのは、相手の為に、自己犠牲的努力を払いながらも、その自己犠牲的努力を自分の喜びとしているところに、愛の感動は生まれる。

人の短所を発見した時には、責めるんじゃ

なくて、助けてあげなくっちゃって思うのが暖かな心なんです。

短所が目立つ人間というのは、長所の伸びてない人間なんです。長所を伸ばしたら短所は気にならなくなる。長所が一目置かれる程の存在感になってくると、短所は人間の味になる。それが命の持っている素晴らしいダイナミズムなんです。

そういう人間の育て方、関わり方をしてあげないといけない。

自分の短所をさらけ出して、相手に助けてもらって、相手の力を褒めてあげるというのを、活人力といいます。人を活かす力ですね。

自分の短所をさらけ出して人に助けて貰って、相手を尊敬して、恩を感じて、褒めたえる、これが美しい心を作る原理です。

少なくとも人を責めるような醜い心を持ったら駄目ですよ。これは病気の元です。まず、第一原理は、人は長所半分、短所半分。短所を無くさせようとする事は間違った努力です。

両義性と解釈力

もうひとつの原理は、どんな事でもプラス面マイナス面が50%ずつあるから、あらゆる事のプラス面を見て生きるということ。哲学の原理では、両義性っていうんです。

両義性というのはプラスにもマイナスにも解釈出来るという、この解釈力というのが物凄く大切なんです。

臆病って事をプラスに評価したら慎重な人になるんですよ。気が小さいという事は堅実な方ですねと言える。

これは人心操縦法でね。所謂、「豚もおだてりや木に登る」って事で、駄目な所でもプラスに評価してあげると、その言葉に誘導されて人間は成長するんです。

大雑把で無神経な人に対しては、なかなか大らかで太っ腹ですね。こういう風にプラスに解釈して評価して言ってあげる事は、愛ですから、それだけ自分は健康になるんですよ。

この解釈力というのは、哲学的には大事な健康と成功と幸せの原理なんです。

現状を悪い方向性に動かしていくか、良い方向性に動かしていくかは、自分自身の事実や問題に対する解釈力によって決まります。

病気っていうのは、どうしたら自分自身が健康に生きられるかを教えてくれる現象と思ったら、病気から学べる訳ですよ。しかも、問題と悩みは、自ら求めるものではなくて、求めずしてやってくるんです。人知を超えた計らいなんです。自分を成長させるために神仏が与えてくれた愛の試練なんです。

問題や悩みが無かったら、何も考えないから成長しない。

燃えてこそ人生、感じてこそ人生

このためなら自分は死んでも良いというものに出会った時、命はもっとも激しくも、美しく燃え上がるんです。

精神的な原理から言ったら、死んでも良いと思えるものを持って生きるって事が、最高の哲学なんです。

今自分がやっている仕事に、喜びや素晴らしさや価値や意味を感じなければいけない。どんなものにも最高に意味を感じたら死んでも良いと思えるんです。

心とは、意味と価値を感じる感性なんです。意味も価値も感じないで働いていたら、苦しいだけです。

やるからには、そこに意味と価値と値打ちと素晴らしさと凄さ、というものを感じて仕事をするという自分を作っていく事が大事ですね。

燃えてこそ人生、感じてこそ人生。今、自分の中にあるもの、自分の手の中にあるもの、今、与えているものの中にこそ、素晴らしさを見出す力を持たないと本当に人間は幸せになれない。

自分が幸せになるためのものは全部、神から天から神仏から、自分にすでに与えられているんです。

それに気が付く事が大事なんです。探し回って求めるものではない。

自分が命を燃やして生きる事ができるものを持つということは、最終的な健康の原理です。命が燃えるということが、本当の健康な状態の最たる姿ですからね。

そういうことで今日は、健康と感性、感性と健康はどう関係するかということを中心にしてお話させてもらいました。

どうもありがとうございました

知識（チ）からだ（カ）こころ（コ）の健康を考える人たち、仲間づくりのサロンです

月・日	時間	講師（敬称略）	演題	会費	備考
9月11日（金） 18:00-講演 19:30-21:00 体験		皆川 容子	「あなたの腸はお元気ですか」 腸と健康とローフード	会員 無料 一般 1000円	東京 別紙
12日（土） 11:00-12:30		皆川 容子	「ローフードクッキング」 火を使わない料理教室	会員 1000円 一般 2000円	東京 エプロン 持参
15日（火）～20日（日） 5泊6日			「整腸のための合宿」三島		別紙
10月 3日（土） 15:00-16:00			「プッシュトレイニングとAED」*1 心臓マッサージの仕方とAEDの使い方 —いざという時のために—	会員 無料 一般 1000円	大阪 下記参照
6日（火） 15:00-16:30		皆川 容子	「ローフードクッキング」 火を使わない料理教室	会員 1000円 一般 2000円	大阪 エプロン 持参
22日（木） 9時大阪駅出発予定		波部有機農研	「黒豆（枝豆）収穫」*2		丹波篠山 下記参照
11月 3日（火） 文化の日 13:30 開場 14:00 開演		はちまん 正人	「ソロピアノコンサート」 森と心のハーモニー	会員 2000円 一般 2500円	別紙
14日（土）—19日（水） 5泊6日			「整腸のための合宿」広島		別紙
28日（土） 16:00-19:30			指導者研修会		

前日までに必ずご予約ください

*1 AED（自動体外式除細動器）

最近、駅、デパート、劇場等、人の集まる所に設置されているAED。どのように扱うのかご存知ですか？ また、正しい心臓マッサージの仕方もしっかり身につけておくと、いざという時、役に立つと思います、大阪ライフサポート協会の専門家による指導です。

*2 波部有機農研 「黒豆（枝豆）収穫」

チカコサロンで「ベランダの家庭菜園」を講演していただいた波部和美氏の農園を、黒豆の最盛期に訪ねて、更に詳しい話を聞きながら、枝豆の収穫をしようという会です。一般の枝豆と違い、ホッコリと甘い黒豆を枝ごとお持ち帰りできます。集合その他についてはお問い合わせ下さい（06-4802-6882）

◎ よみうり文化センター「菜食整腸健康法（ネイティブヘルス）腸と健康とローフード」

梅田 10月、11月、12月 第2、第4金曜 13:00-15:00
東京・大森 10月、11月、12月 第3金曜 13:00-15:00

ネイティブヘルス認定機関登録者（平成21年8月末現在）登録順

北出篤夫	大阪府枚方市藤阪東町	072-859-0843	
三浦 元 三浦整骨院	大阪府寝屋川市高柳	072-838-5374	合宿可
新居 敏子、諭、指田 量正 なちゅらるらいふ・生駒	奈良県生駒市小明町	0743-73-6121 090-3656-5240	合宿可
瀧内 和美 チアアップ	神戸市東灘区岡本 & 神戸市中央区元町	090-8208-0555	
谷口茂夫・典代 谷口鍼灸院	岐阜県高山市宗猷寺町158	0577-36-3836	
森本 浩至、橋本 正夫 グリーンライフアカデミー	大阪市淀川区東三国	06-6392-0011	
久保田佳鶴子 Une (ゆぬ)	京都市右京区谷口堀ノ内町	090-8657-6489	
敷名 伸枝	姫路市飾磨区富士見ヶ丘町	079-239-1290	出張
畑 美恵子	大阪府東大阪市御厨栄町	090-8235-1722	出張
野尻 二四代	岐阜県高山市一之宮町	0577-53-2255	出張
中山 智恵	徳島県徳島市南昭和町	088-652-2201	出張
武田 真弓	大阪府枚方市北中振	090-3864-6211	出張
山下 英雄	兵庫県明石市西明石町	078-928-9326	出張
羽田 麻美	神奈川県横浜市青葉区	090-5724-2546	出張可
坂口 純子	神奈川県川崎市宮前区馬絹	044-855-3999	出張可
中村 由佳	千葉県船橋市藤原	050-5514-7266	
清水 敬子	福岡県田川市楠	0947-44-6591	出張
福田 美幸	福岡県嘉穂郡庄内町綱分	0948-82-0817	出張
宮脇 由美子	大阪府大阪市鶴見区今津中	06-6967-7211	出張
竹村 和子	大阪府大阪市東淀川区上新庄	06-6328-3783	出張
森田 佳代	大阪狭山市大野台	072-366-3209	出張
板井 伸博	大分県豊後高田市夷	0978-54-2675	
鶴田 美紗	大阪府高石市東羽衣	072-265-7669	出張
大里 真希子高畑クッキングスタジオ	福岡県北九州市八幡西区折尾	093-601-6295	
大野 千恵子	堺市南区庭代台	090-8385-7940	出張
長谷 敬子	大阪市平野区平野本町	06-6796-8808	出張
渡邊 朝子	横浜市青葉区美しが丘	045-901-6699	出張
青木 朝子	横浜市戸塚区戸塚町	045-881-6388	出張
藤崎 尚子	北九州市八幡西区折尾	093-691-5371	出張
河南 恵津子	神戸市中央区港島中町	090-5640-2460	出張
深田 恵子	神戸市兵庫区東山町	090-6057-9192	出張
藤本 ユミ子	横浜市保土ヶ谷宮田町	045-335-6004	出張
玉井 純子	シアトル ・ USA		出張

あとがき

今回は、悲しいお知らせの会報となりました。悲しい、つらい、と打ちひしがれていても、松田先生は決してお喜びにならないだろうと頑張っています。さいわい、一昨年からご縁を頂いている神山五郎先生、杉原伸夫先生、以前からお世話になっている柳本信雄先生が、ご協力下さっています。無論、多勢の素敵な会員様も後押しして下さい、私は果報者と感謝して居ります。

今まで以上にNPOの目標である「医療費削減、介護問題、省エネ」に寄与する団体として、このネイティブヘルス「Human Native Health Research 人類本来の健康を追求する」という志を忘れず歩いていこうと思っています。 Y. M

「明日葉（あしたば）」第39号2009年 8月31日 編集・発行 NPO法人ネイティブヘルス

〒530-0014 大阪市北区鶴野町1-3-403 TEL06-4802-6880 ホームドレス <http://www.nponh.com> <http://www.nhacademy.co.jp>